

2025年9月8日



神戸新開地・喜楽館と連携した昼席公演 「阪神電気鉄道開業120周年記念 兵庫県民ウィーク」 10月開催！

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）は、神戸新開地・喜楽館（所在：神戸市兵庫区、運営：特定非営利活動法人新開地まちづくり NPO、理事長：高四代）と連携し、10月20日（月）から26日（日）までの一週間、同館において「阪神電気鉄道開業120周年記念 兵庫県民ウィーク」を開催します。

当社は、1905年4月12日、神戸（三宮）～大阪（出入橋）間で営業を開始し、**今年で開業120周年**を迎えました。一方、新開地エリアも、**街びらきから今年で120周年**を迎えます。そこで、これらを記念し、同館が開催する兵庫県ゆかりの嘶家による公演「兵庫県民ウィーク」に当社が協力することとし、当社にちなんだ公演を実施するものです。

詳細は次のとおりです。

- 1 公演名
阪神電気鉄道開業120周年記念 兵庫県民ウィーク
- 2 開催期間
2025年10月20日（月）から26日（日）まで <7日間>
・各日 開場13時30分、開演14時
- 3 会場
神戸新開地・喜楽館
神戸市兵庫区新開地2丁目4-13
新開地駅下車 東改札口3番出口から徒歩約2分
- 4 特別企画の内容
(1) 兵庫県ゆかり、阪神間在住の嘶家がトリを務めます。

(2) 真山隼人氏による新作創作浪曲の上演
当社開業120周年を記念して、新進気鋭の若手浪曲師である真山隼人氏による新作創作浪曲「阪神電車物語」を7日間連続で上演します。駅の歴史や誕生秘話、知られざる秘密など、阪神電気鉄道沿線の駅をテーマにお届けいたします。

(3) 阪神電車 スライドトークショーの実施

浪曲で取り上げる駅の昔の写真を見ながら、司会と落語家での阪神沿線と歴史を語り合うトークショーを実施します。

(4) 「写真と新聞記事でたどる阪神電気鉄道120年のあゆみ」パネル展示

普段なかなか公開することのない当社開業時からの所蔵写真と、創刊から127年を数える神戸新聞紙面を神戸新聞社協力の下、パネル化しました。その中から、神戸にゆかりのあるパネルを取り上げ、神戸新開地・喜楽館のロビーに展示します。

また、メトロこうべ・metro+（中央広場）[高速神戸駅・新開地駅下車 徒歩約3分]でもパネル展を開催します（入場無料：10月3日（金）から10月31日（金））。

5 料金

前売2,300円／当日2,800円（全席指定席・各種割引あり）

※公演の詳細は、駅置きチラシまたは神戸新開地・喜楽館のHPをご確認ください。

(<https://kobe-kirakukan.jp/>)

<関連イベント「第1回神戸落語まつり@新開地」のご案内>

10月27日（月）から11月2日（日）まで、「第1回神戸落語まつり@新開地」が開催されます。今年は**新開地の街びらきから120年、阪神淡路大震災から30年**という節目の年にあたることから、発展と復興を遂げてきた新開地エリアにある神戸新開地・喜楽館をはじめとする6つの会場で落語会を開催。総勢約100名の落語家たちが登場し、「街中に笑いが響く日」を作り出します。

※詳細は、駅置きチラシまたはHPをご確認ください。

(<https://kobe-rakugomatsuri.jp/>)

阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。



以 上